

2004年8月2日

関西電力株式会社社長 藤洋作様

美浜町議会の決議を受け、関西電力への申し入れ

若狭連帯行動ネットワーク

7月14日、福井県美浜町議会は、町民や議員の反対意見を押し切り、「使用済み核燃料中間貯蔵施設の誘致推進に関する決議」を行いました。

貴社の原発から出る使用済み核燃料は、これまで海外へ搬出されたり青森県の六ヶ所に搬出されたりして、原発内でたまり続ける使用済み核燃料を原発サイトから搬出し、原発の運転をなんとか維持してきました。しかし、原発内の保管は、今後満杯になるため「中間貯蔵」なる施設を考え出してきました。

この中間貯蔵は、原発をこれからも稼働を続けるための方策であり、私たちは、原発の延命のために考え出された中間貯蔵施設について、断固反対します。

今まで原発・核燃料サイクル政策でいわれていた全数再処理の方針は破綻しています。電事連のコスト試算報告で見ても、使用済み核燃料の半数以上は、再処理する見通しも立っていないのではないですか。中間貯蔵などという姑息な方策をとるのではなく、増え続ける使用済み核燃料を生み出さないためにも、原発の運転を止めていくべき方向に向かうべきです。

「中間貯蔵施設」という言葉を使っていますが、使用済み核燃料の全数再処理することを事実上棚上げしている今、この施設ができれば、どこへも使用済み核燃料はもっていき場のないまま、半永久的に保管させられることを運命つけられてしまいます。

おそらく貴社は、「これは先送りにしているが、再処理を放棄したのではない」と言いはるのでしょうか、再処理して生み出される危険きわまりないプルトニウムをこれからどのように使うというのでしょうか。第2再処理、MOX加工の施設をどうするのかも全く考えられていません。そんな中で「中間貯蔵」などという言葉を使うこと自体、全くおかしい話です。

貴社に再度申し上げます。

美浜町に中間貯蔵施設を立地しないでください。和歌山県御坊など福井県外にも立地しないでください。

MOX加工の本契約を締結しないでください。高浜原発のプルサーマル計画を中止してください。

日本原燃の株主として、六ヶ所再処理工場のウラン試験を中止させてください。

30年を超える美浜1・2号炉の運転を即刻中止してください。

中間貯蔵問題が各地で持ち上がっている今、英断をもって脱原発の方向を模索してください。

貴社が考えている「原発の60年運転を視野に入れ、使用済み核燃料を大量に生み出し続ける」ことはもうやめてください。

私たちの子や孫にその後始末を押し付けることはこの機会にやめるよう強く要望します。